

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 士幌西部地区

1. 事業の概要

【事業の目的】

本地区は、基幹排水路整備により農地の湛水被害を解消することで、農業経営の安定を図り地域農業の振興に資するものである。

【主要工事の概要】

・受益面積	・主要工種
1,655 ha	排水路 : 4条 L= 8.3 km

2. 関係市町村の環境に対する考え方

(士幌町田圃環境整備マスタープランより)

【現状】

河川の排水路化・林地の減少など生産性の向上が生態環境に影響し、単調な空間形成の要因となった。

【課題】

農村空間は、自然環境保全など多様な機能を提供しており、地域条件に応じた自然環境などの適切な調和が重要

【環境保全の基本的考え方】

- ・地域条件に応じた生産・生活・自然環境の適切な調和
- ・やすらぎ・快適さのある農村環境の創出

3. 事業による環境との調和への配慮

【基本方針】

地域の環境に対する基本方針を踏まえ、水辺の動植物の生息・生育環境への配慮を行う。

【取組内容】

- 水辺環境に配慮した護岸による整備
 - ・フン箆護岸を採用し、魚類等の生息環境に配慮する。
 - ・排水路の法面に植生マット及び自然繊維植生シートで被覆し、河岸植生の早期回復に配慮する。
- 農村景観及び既存林の保全への配慮
 - ・既存林の伐採を最小限に回避する排水路の縦横断計画とする。
 - ・既存林の保全により、小動物の移動経路を確保する。
- 魚類の移動経路の確保
 - ・傾斜型落差工の採用により、排水路の魚類等の移動経路を確保する。
- 魚類の生息環境に配慮した仮設工
 - ・排水路の施工時には沈砂池を設置し、濁水処理を行い、魚類等の生息環境に配慮する。